

週間感染症情報

2022年19-21週 2022年5月9日より2022年5月29日まで

19週 20週 21週

| | | | |
|--------------|----|----|----|
| 麻疹 | | | |
| 風疹 | | | |
| 水痘(みずぼうそう) | 1 | | |
| ムンプス(おたふくかぜ) | | | |
| 百日咳 | | | |
| 溶連菌感染症 | 3 | 9 | |
| 手足口病 | | | |
| ヘルパンギーナ | | | |
| 伝染性紅斑 | | | |
| 感染性胃腸炎 | 33 | 35 | 47 |
| ロタウイルス(再掲) | | | |
| 便アデノウイルス(再掲) | | | |
| 突発性発疹 | 3 | 2 | 3 |
| 伝染性膿痂疹(とびひ) | 4 | 1 | 3 |
| ヘルペス性口内炎 | | | 1 |
| アデノウイルス感染症 | 2 | 5 | 5 |
| RSウイルス感染症 | | 1 | |
| マイコプラズマ感染症 | | | |
| ヒトメタニューモウイルス | | | |
| 新型コロナウイルス感染症 | 61 | 38 | 37 |
| インフルエンザ A | | | |
| インフルエンザ B | | | |

報告が遅くなりました。19-21週の3週間の報告です。新型コロナの報告は、連休以後に中学の部活動や介護施設等でクラスターの発生があり増加しました。5月24日の総合教育会議で、学校・園の学級閉鎖基準は緩和されました。その後は、PCR検査での陽性率も低下してきており、クラスターの発生は増えていません。溶連菌感染症の報告が増えています。アデノウイルス感染症(結膜炎合併の咽頭結膜熱)の報告も増えています。22週に市内小学校1年生のクラスが原因不明の感染症の流行で学級閉鎖になりました。県環境保健センターでPCR検査をしていただき、5検体すべてでライノウイルスが陽性となりました。鼻かぜのウイルスです。5月31日、市内医療機関よりインフルエンザAの報告が2例ありました。その後の報告はありませんので、感染の拡大はないようです。これから冬に向かうオーストラリアでは、右下のグラフの様に、インフルエンザの報告が増加しています。流行対策として、平年は有料のインフルエンザワクチンが6月は無料で受けることができます。日本でも、コロナとの共存ということで、渡航制限の緩和や厳しい感染対策が緩和されます。今シーズンは、3年ぶりにインフルエンザの流行があるのでしょうか？

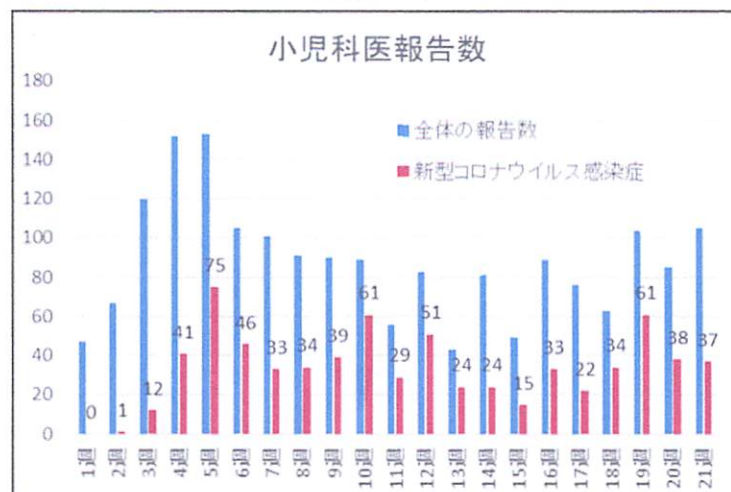
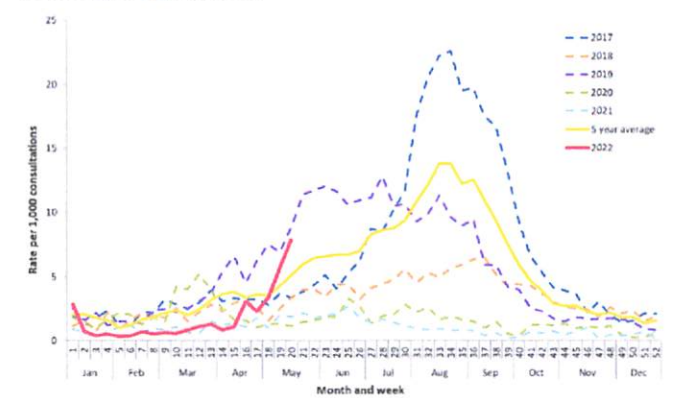


Figure 3. Unweighted rate of ILI reported from ASPREN sentinel GP surveillance systems, Australia, 01 January 2017 to 22 May 2022, by month and week**



** All data are preliminary and subject to change as updates are received. Please refer to Data considerations for interpretation of the 5 year average. ** Please refer to surveillance system description (Page 2) for notes on impact of COVID-19 on ASPREN data.

(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com>)

三宅内科小児科医院 三宅真砂子